

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度 (1 学年用) 教科 社会科 科目 歴史総合

教科: 社会科 科目: 歴史総合 単位数: 3 単位
 対象学年組: 第 1 学年 A 組
 教科担当者: 岡崎 雅代
 使用教科書: (『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』清水書院)
 教科 社会科

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその日本を広く相対的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学期	単元名 18世紀までの世界	・近世の日本と世界 ・18世紀の中国とアジア貿易 ・18世紀のイギリスとアジア、アフリカ	【知識及び技能】 18世紀のアジアの経済と社会を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀のアジアの経済・社会に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	単元名 工業化と世界市場の形成	・産業革命による経済発展と社会の変化 ・世界市場の形成とイギリスによるアジア進出 ・日本の開国とその影響	【知識及び技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界市場の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較するなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 工業化と世界市場の形成に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元名 国民国家と立憲体制	・二つの市民革命と近代民主主義社会の成立 ・国民国家とナショナリズム ・明治維新期の日本と世界 ・近代国家への移行と憲法の制定	【知識及び技能】 立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較するなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家と立憲体制に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
2 学期	単元名 帝国主義とアジア、アフリカの変容	・列強による帝国主義 ・帝国主義がアジア、アフリカにもたらしたもの ・日清戦争 ・日露戦争	【知識及び技能】 列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 列強の帝国主義政策とアジア、アフリカの変容に関して、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元名 第一次世界大戦と国際社会	・第一次世界大戦 ・社会主義革命 ・国際協調体制 ・アジアの民族運動	【知識及び技能】 第一次世界大戦の特質・展開や惨禍、第一次世界大戦後の国際協調体制について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 大戦の目的とアジア及び世界各地の関係の変化などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦と国際社会に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学期	単元名 1920年代の世界と大衆の時代の到来	・大衆の政治参加 ・フアンズムの台頭 ・大衆社会の形成	【知識及び技能】 教育の普及など大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦後の社会の変容などを、多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元名 国際協調の挫折と2度目の世界大戦	・世界恐慌 ・フアンズムの台頭 ・日本の大陸進出 ・第二次世界大戦	【知識及び技能】 当時の政治制度の特性や国際情勢、第二次世界大戦の展開を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 マスコミの影響の大きさを理解し、現代的な諸課題との関わりを主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学期	単元名 世界大戦がもたらしたもの	・アジア太平洋戦争 ・戦争が変えた人々の暮らし ・戦後世界の新たな枠組み ・冷戦下の東アジア ・ナショナリズム	【知識及び技能】 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民生活に対する国家の関わりについて主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元名 冷戦と国際政治	・脱植民地化とアジア、アフリカ諸国 ・冷戦下の地域紛争 ・冷戦下の政治と社会運動 ・核兵器の脅威と核軍縮	【知識及び技能】 冷戦下における国際関係や核兵器をめぐる情勢について理解するとともに、関連資料を活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下における両陣営の思惑や核兵器の軍拡・軍縮の動きについて、多面的・多角的に考察し、適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会につながる国際情勢について、主体	○	○	○	20
	【学びに向かう力、人間性等】						

現代社会につながる国際情勢について主体的に追究している。 定期考査		的に追究しようとしている。				
			○	○		1
						合計
						105